

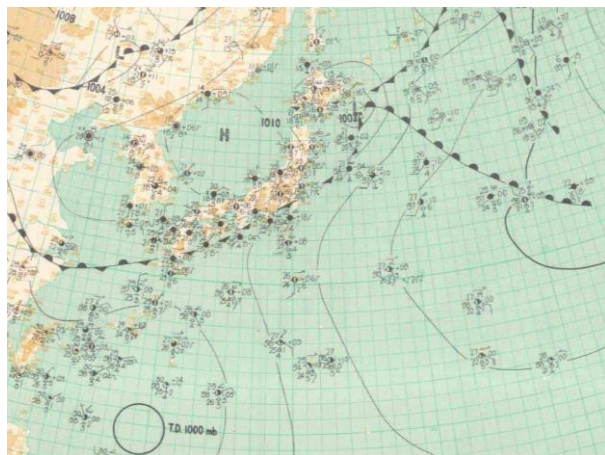
梅雨の季節の大雨（昭和36年6月）

6月から7月は梅雨の季節となります。日立市においては、梅雨の時季よりも秋雨の時季のほうが降水量が多くなる傾向がありますが、差は小さく、雨の季節です。1回の雨で最も降水量が多かったのは、344.9ミリですが、これは、1961年（昭和36年）6月27日から30日に観測しました。

この年、6月26日頃から関東地方の沿岸に梅雨前線が停滞しており、沖縄の南には熱帯低気圧があり、日本の南東海上には太平洋高気圧が張り出していました。この気圧配置は、前線に向かい、高気圧の縁をまわるように、南から湿った空気が入る典型的な形であり、雨雲も発達しやすい状態でした。実際、断続的に雨が続き、28日には1時間に43ミリの激しい雨を観測、その後やむ時間もありましたが、断続的に雨は続き、29日には再び1時間に52ミリの激しい雨を観測しています。

この時は、強い雨が降った後にいったん雨が弱まり、その後、再び強い雨が降りましたが、このような雨の降り方は、土砂崩れが発生しやすいかたちであり、土砂崩れによる災害も発生しました。

1961年（昭和36年）6月28日9時の天気図



今年の夏の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、平年並みの気温や降水量となる見込みです。6月は平年より雨の日が少ないですが、7月は雨の日が多い予想です。

平年の値（日立市役所）

項目	6月	7月	8月
平均気温（℃）	19.2	23.0	24.9
降水量（mm）	165.1	162.5	145.6
日照時間（時間）	113.3	130.2	172.7
平均湿度（%）	82	84	82

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。